



【事業名】

天ヶ瀬ダム

【位置】

淀川水系宇治川

右岸：京都府宇治市

槇島町槇尾山地先

左岸：京都府宇治市

槇島町六石地先



【事業の目的】

1. 洪水調節

2. 新規利水

水道用水 京都府宮山城水道  
0.30m<sup>3</sup>/s

発 電 関西電力 92,000kw  
(最大)

【事業の概要】

1. 貯水池 1.88 km<sup>2</sup>  
集水面積 352 km<sup>2</sup>  
総貯水量 26,280,000m<sup>3</sup>  
有効貯水量 20,000,000m<sup>3</sup>  
洪水調節容量 20,000,000m<sup>3</sup>

2. ダム

型 式 ドーム型アーチ式  
コンクリート

堤 高 73.0m

堤頂長 254m

堤体積 121,500m<sup>3</sup>

【工期】

昭和32年～平成39年

【事業の経緯】

昭和30年 8月 実施計画調査着手

昭和32年 4月 建設着手

平成34年 2月 基本計画告示

平成38年 9月 補償基準妥結

平成34年 1月 工事用道路着手

平成37年 6月 基本計画告示(変更)

平成39年10月 基本計画告示(第2回変更)

## 問題点

### 【全体】

1. 完成後約40年経過した施設の老朽化 → 計画的な施設更新
2. 堆砂量が計画堆砂量を上回っている

### 【治水面】

1. 下流淀川・宇治川の洪水対策に対応するダム放流能力不足
2. 琵琶湖後期放流能力不足による琵琶湖周辺の浸水被害

### 【利水面】

1. 渇水時等のゲート微少開度（30cm以下）放流によるゲート設備への影響

### 【環境面】

1. 琵琶湖から流れ込む流芥 → 年2回の流芥処理
2. ゲート放流による低周波震動に対する、ダム周辺住民からの苦情  
→ 一部補償済み。
3. ダムの流路分断による、魚類等生態系への影響（未確認）
4. ダムの土砂移動遮断による下流河川の河床低下及び生態系への影響（未確認）
5. ダムの流量調節（下流河川水位の平滑化）による下流生態系への影響（未確認）
6. ダムの流水貯留による水質への影響（未確認）

### 【その他】

1. 瀬田川洗堰の後期放流等の影響による、天ヶ瀬ダム放流及び体制の長期化
2. 放流量200m<sup>3</sup>/s以上での「宇治川鶴飼い」中止による観光面への影響
3. 放流量400m<sup>3</sup>/s以上での「塔の島」立入禁止による観光面への影響
4. 晴天時の放流に対する苦情（一般河川利用者等）
5. 急激な放流量減による遊船（向島地区）の座礁による苦情
6. ダム水位変動（揚水発電の下池）に伴う貯水池内の小規模な法面崩壊

【事業名】

高山ダム

【位置】

淀川水系名張川

右岸：京都府相楽郡

南山城村田山地先

左岸：京都府相楽郡

南山城村高尾地先



【事業の目的】

1. 洪水調節
2. 流水の正常な機能の維持
3. 新規利水

水道用水	大阪府	1,824m <sup>3</sup> /s
	大阪市	2,249m <sup>3</sup> /s
	枚方市	0,112m <sup>3</sup> /s
	守口市	0,041m <sup>3</sup> /s
	阪神水道企業団	0,672m <sup>3</sup> /s
	尼崎市	0,102m <sup>3</sup> /s

4. 発電 関西電力 6,000kw

【事業の概要】

1. 貯水池	2.6k m <sup>3</sup>
集水面積	615k m <sup>2</sup>
総貯水量	56,800,000m <sup>3</sup>
有効貯水量	49,200,000m <sup>3</sup>
洪水調節容量	35,400,000m <sup>3</sup>
2. ダム	
型式	アーチ重力式 コンクリートダム
堤高	67m
堤頂長	208.7m
堤体積	213,900m <sup>3</sup>

【工期】

昭和35年度～昭和44年度

【事業の経緯】

- 昭和35年4月 実施計画調査着手
- 昭和37年9月 実施方針指示、建設着手
- 昭和38年9月 工事用道路着手
- 昭和40年7月 補償基準妥結
- 昭和44年7月 実施方針指示(変更)
- 昭和44年8月 管理開始

問題点

1. ダム上流域の人口増加により、貯水池の富栄養化が進み毎年、淡水赤潮及びアオコが発生し、景観上月ヶ瀬湖の観光に影響を与えている。
2. ダムには選択取水設備がなく、底部取水設備で放流することから、冷水放流の問題がある。
3. 洪水期に下げる水位幅が 18.0m と大きい。水位を急に下げるのではなく、2ヶ月以上かけ水位を低下させることで、裸地の拡大を防止している。
4. 名張川の最下流に位置し、魚類の遡上や流砂の連続性を阻害している。
5. ダム下流約10kmにキャンプ場があり、19万人の年間利用客が河川敷を利用してゐる。このためダムからの警報、巡視に苦慮している。
6. ダム貯水池と道路の間の民地に廃棄物が不法投棄された。

河川名称	ダム名称	ダム型式	貯水池容量	放流量	備考
名張川	上流ダム	重力式	100万m <sup>3</sup>	1000m <sup>3</sup> /日	
名張川	中流ダム	重力式	200万m <sup>3</sup>	2000m <sup>3</sup> /日	
名張川	下流ダム	重力式	300万m <sup>3</sup>	3000m <sup>3</sup> /日	
名張川	最下流ダム	重力式	400万m <sup>3</sup>	4000m <sup>3</sup> /日	
名張川	調整池	重力式	500万m <sup>3</sup>	5000m <sup>3</sup> /日	
名張川	調整池	重力式	600万m <sup>3</sup>	6000m <sup>3</sup> /日	
名張川	調整池	重力式	700万m <sup>3</sup>	7000m <sup>3</sup> /日	
名張川	調整池	重力式	800万m <sup>3</sup>	8000m <sup>3</sup> /日	
名張川	調整池	重力式	900万m <sup>3</sup>	9000m <sup>3</sup> /日	
名張川	調整池	重力式	1000万m <sup>3</sup>	10000m <sup>3</sup> /日	

【事業名】

青蓮寺ダム

【位置】

淀川水系名張川支川

青蓮寺川

右岸：三重県名張市

中知山字下ン田

左岸：三重県名張市

青蓮寺字ガオヤ



【事業の目的】

1. 洪水調節
2. 流水の正常な機能の維持
3. 新規利水

水道用水	名張市	0.19m <sup>3</sup> /s
	大阪府	0.839m <sup>3</sup> /s
	大阪市	1.035 m <sup>3</sup> /s
	枚方市	0.051 m <sup>3</sup> /s
	守口市	0.019 m <sup>3</sup> /s
	阪神水道企業団	0.309 m <sup>3</sup> /s
	尼崎市	0.047 m <sup>3</sup> /s
農業用水	名張地区	1.86m <sup>3</sup> /s

4. 発電 三重県企業庁 2,000kw

【事業の概要】

1. 貯水池	1.04k m <sup>2</sup>
集水面積	100k m <sup>2</sup>
総貯水量	27,200,000m <sup>3</sup>
有効貯水量	23,800,000m <sup>3</sup>
洪水調節容量	8,400,000m <sup>3</sup>
2. ダム	
型式	アーチ式コンクリートダム
堤高	82m
堤頂長	275m
堤体積	175,000m <sup>3</sup>

【工期】

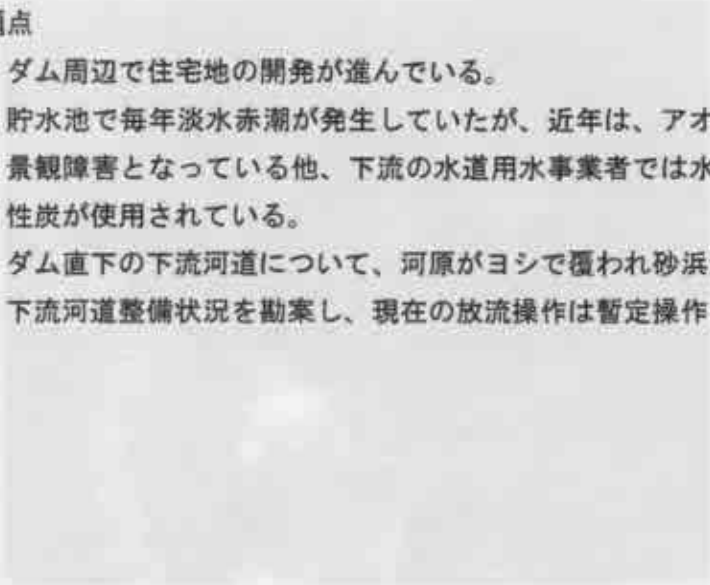
昭和39年度～昭和45年度

【事業の経緯】

- 昭和39年11月 実施計画調査着手
- 昭和40年1月 実施方針指示
- 昭和40年11月 補償基準妥結
- 昭和41年3月 建設着手
- 昭和41年5月 工事用道路着手
- 昭和45年6月 実施方針指示(変更)
- 昭和45年7月 管理開始

問題点

1. ダム周辺で住宅地の開発が進んでいる。
2. 貯水池で毎年淡水赤潮が発生していたが、近年は、アオコも発生するようになった。景観障害となっている他、下流の水道用水事業者では水道水に障害がでないように活性炭が使用されている。
3. ダム直下の下流河道について、河原がヨシで覆われ砂浜が無くなっている。
4. 下流河道整備状況を勘案し、現在の放流操作は暫定操作となっている。



項目	内容	備考
1. ダム周辺	住宅地開発	
2. 貯水池	淡水赤潮発生	
3. 下流河道	ヨシで覆われ砂浜消失	
4. 放流操作	暫定操作	